

いちご促成栽培用品種「とちおとめ」「章姫」は多収・大果、前進作型にも適応する

【1 成果概要】

いちご促成栽培用品種「とちおとめ」及び「章姫」は、促成および促成前進作型に適応します。両品種は、奨励品種「さちのか」より収量性が高く、大果となります。「とちおとめ」は「さちのか」とほぼ同等の品質を有し、「章姫」は糖度、硬度がやや劣ります。食味は、「さちのか」「とちおとめ」「章姫」の順に優れます。

【2 効果】

- 1 「さちのか」と同様、促成・促成前進作型に適応します。
- 2 「章姫」「とちおとめ」を利用することで、「さちのか」より単収向上が可能となります。
- 3 促成前進作型において、「とちおとめ」「章姫」は年内収量の向上が望めます。
- 4 市場ニーズに応じた品種選択により、有利販売ができます。
- 5 両品種とも大果であり、選別、パック詰め等の選果労力が軽減されます。

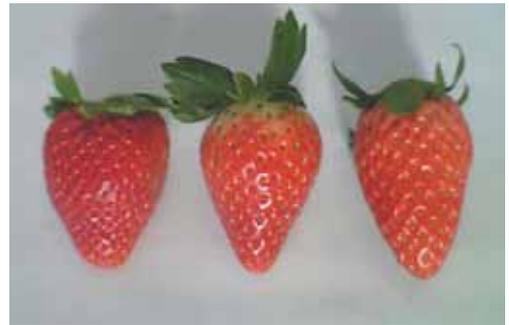


写真1 左からさちのか、とちおとめ、章姫 (20g前後の果実)

【3 留意事項】

- 1 両品種とも果実が軟化しやすいので注意します。
- 2 低温期は、培地15℃、気温8℃を目標に加温し、11月中下旬から電照を行います。
- 3 市場ニーズ、販売戦略を踏まえて品種を選定することが重要です。

表・各品種の特性評価

	収量	年内収量	糖度	酸度	硬度	食味
さちのか	~	~				
とちおとめ			~		~	
章姫						~
評価(4段階)・・・・x						
収量・年内収量	:多い	:やや良い	:やや少ない	x:少ない		
糖度・酸度・硬度	:高い	:やや高い	:やや低い	x:低い		
食味	:良い	:やや良い	:やや不良	x:不良		

【4 適応対象】

- 1 地域
県央、県南、沿岸部地域(冬期間が比較的温暖で、いちご促成、促成前進栽培に適する地域)
- 2 対象者
(1) 現在、いちご促成または促成前進栽培の生産者で、品種を検討している方
(2) これから、促成いちごの栽培を開始しようとしている方

【5 導入コスト】

- 1 種苗費(見込み)
品種名:とちおとめ、章姫
(1) 単価 300円/1株(親株)
(2) 10a当り 親株212株
(栽植密度7400株/10a 苗増殖率35倍の場合)
(3) 金額 63,600円/10a
- 2 苗入手方法
(1) 申込先・・・岩手県農産物改良種苗センター
(2) 電話・・・0197-35-8505